

景 観 シ ミ ュ レ ー シ ョ ン 自 己 評 価 書

シミュレーションの距離帯		評 価 基 準 (考 え 方)	評 価 対 象	基準のチェック	評価基準に対するコメント
遠 景	●背景との関係が読み取れる距離 ↓ 位置・規模を評価 (目安 1)1,000m程度 2)最大寸法 20 倍 例) 高さ 50mの場合 距離 1,000m 程度)	●大景観と調和しているか（地域の景観の特徴との関係）。 ・景観形成基準や広域景観形成基準がある場合、景観形成の目標に適合しているか。 ・地域の景観の優れた特徴を乱していないか。 ・親しまれている眺望を妨げていないか。	① 位置	○	小規模建物が集まっている景観の中になるため、調和している。
			② 規模	○	周辺の小規模建物に調和するような、既存が2階建て、増築部分が平屋建ての小規模建物である。
			③ スカイン	○	隣地に建つ3階建ての建物より低く抑えており、周辺の景色を遮らない計画である。
中 景	●建物の周辺の状況がわかる距離 ↓ 主要部位を評価 (目安 100～500m程度)	●中景観と調和しているか（周辺景観とのバランス）。 ・周辺の優れた景観特性を乱していないか。 ・過剰に目立っていたり、雑然としていたり、周辺に景観阻害感を生じていないか。	① 基調色	○	周辺の建物に調和するように、和風建築の色合いになっている。
			② おおまかな形状	○	建物の高さや平面形状ともに、過剰に目立つことはなく、周囲に調和する形状になっている。
			③主要な付属物 〔屋上設備 屋上階段 ベランダ等〕	○	なし。
			④特殊な材料 (金属やミラーなど)	○	なし。
近 景	●隣接する建物との関係や通りの雰囲気がわかる距離 ↓ ディテールを評価 (目安 50m程度)	●小景観と調和しているか（通りの雰囲気と建物のデザインとの関係）。 ・通りの雰囲気を悪い方向に乱していないか。 ・商店街や住宅地といった通りの性格や将来計画に照らし合わせて適当なデザインか。 ・建物の立つ場所の特性（交差点に面するなど）に配慮しているか。	①壁面意匠 〔ファサード意匠 側面の仕上げ 壁面設備〕		通りの雰囲気に調和するような、和風建築の壁面意匠になっている。
			②看板類	○	既存玄関の看板は建物と調和するデザインの看板である。
			③アクセントカラー	○	なし。
			③ 低層部の雰囲気	○	建物全体が和風建築の意匠になっているため、低層部の雰囲気も小景観に調和している。
			⑤敷地利用 (緑化など)	○	敷地の出入り部分以外は、緑化をしていることで、駐車場の目隠しになるように配慮している。
地 点	●周辺の公共空間（前面道路の歩道など）との関係がわかる距離 ↓ 道路際の造作を評価 (目安 10m前後)	●前面の公共空間と調和しているか（道路際の雰囲気）。 ・道路敷が雑然としていないか。 ・地区固有の行事などに支障はないか。 ・前後の歩道の雰囲気を乱していないか。 ・その他、圧迫感や歩きにくさを感じさせるようなところがないか。	①低層部のディテール・意匠・材料・構造	○	周辺に多様なデザインの建物が建つ中で、当該建物は自然素材の材料を使用した和風建築の意匠であり、前面の公共空間に調和するよう努めている。
			②敷地のデザイン 〔敷地の舗装 緑化状況 駐車場の見えなど〕	○	敷地の出入り部分以外は、緑化をしていることで、駐車場の目隠しになるように配慮している。敷地はアスファルト舗装とし、接道道路と同じである。